

令和2年11月6日	
資料提供	
担当課	循環型社会推進課
担当者	山田、辻内
電話	073-441-2675

「わかやまごみゼロ活動ロゴマークデザインコンテスト」 入賞作品の決定！

「わかやまごみゼロ活動ロゴマークデザインコンテスト」の入賞作品が決定しましたので、お知らせします。

なお、最優秀賞作品に選出されたデザインは、「わかやまごみゼロ活動」のロゴマークに採用し、印刷物や啓発グッズ等に使用する予定です。

記

1. 入賞者（最優秀賞1名 ロゴマークに採用、優秀賞9名 各部門で3名ずつ）

	学校名	学年	氏名（ふりがな）
最優秀賞	田辺市立三里小学校	5年生	栗栖 和（くりす にこ）
優秀賞 【小学生の部】	かつらぎ町立大谷小学校	4年生	森本 凌生（もりもと りょう）
	和歌山市立三田小学校	4年生	宮本 さくら（みやもと さくら）
	橋本市立橋本小学校	6年生	濱崎 千佳（はまざき ちか）
優秀賞 【中学生の部】	近畿大学附属和歌山中学校	1年生	森川 祐輔（もりかわ ゆうすけ）
	紀の川市立貴志川中学校	1年生	井田 伶奈（いだ れいな）
	和歌山市立西浜中学校	2年生	村垣 妃華子（むらがき ひかこ）
優秀賞 【高校生の部】	和歌山県立和歌山工業高等学校	1年生	池田 楓（いけだ かえで）
	和歌山県立和歌山工業高等学校	1年生	森本 颯来（もりもと そら）
	和歌山県立和歌山工業高等学校	3年生	宇家 夢香（うや ゆめか）

《最優秀賞作品の選出理由》

和歌山の「和」を用いた文字デザインとして描かれ、「和の口の部分をゴミ袋にし、それを手で持っているように描くことで、ごみを拾っているように見える。」という制作者の作品コンセプトから、和歌山県全体でごみ拾いを行うというメッセージ性が明確で、「わかやまごみゼロ活動」として認識できるインパクトがある。

2. 表彰式

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止します。

3. 入賞作品の発表

県ホームページ「わかやまごみゼロ活動ロゴマークのデザインコンテスト実施について」にて公開しています。

* <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031800/gomizero/logomark.html>

4. 応募状況

小学校	8校	195点
中学校	8校	101点
高等学校	4校	133点
義務教育学校	1校	11点
特別支援学校	0校	0点
合計	21校	440点

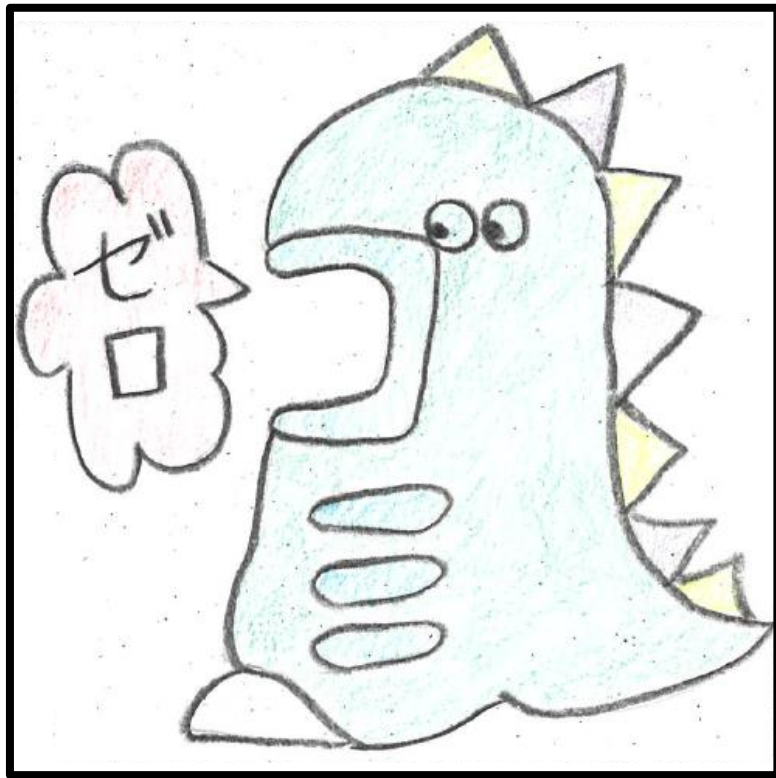
●コンテストの概要

- ・募集テーマ 県民や事業者の自主的な街頭清掃活動等（わかやまごみゼロ活動）を応援できるもの
- ・募集期間 令和2年7月6日から9月11日
- ・募集対象 ①県内の小・中・義務教育・高等学校及び特別支援学校に在籍する児童・生徒
②県外の小・中・義務教育・高等学校及び特別支援学校に在籍する県内在住の児童・生徒



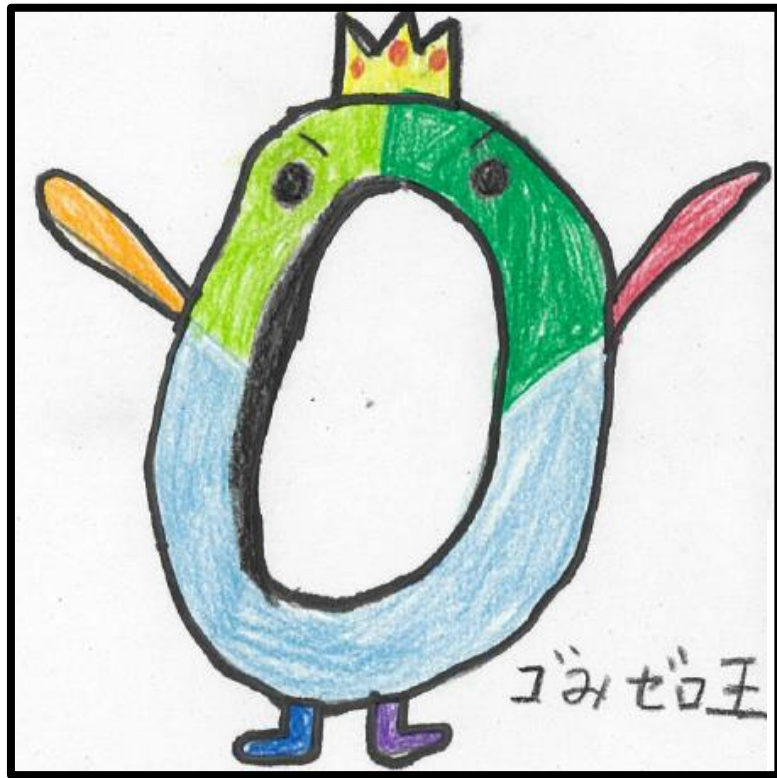
田辺市立三里小学校

5年生 栗栖 和さん



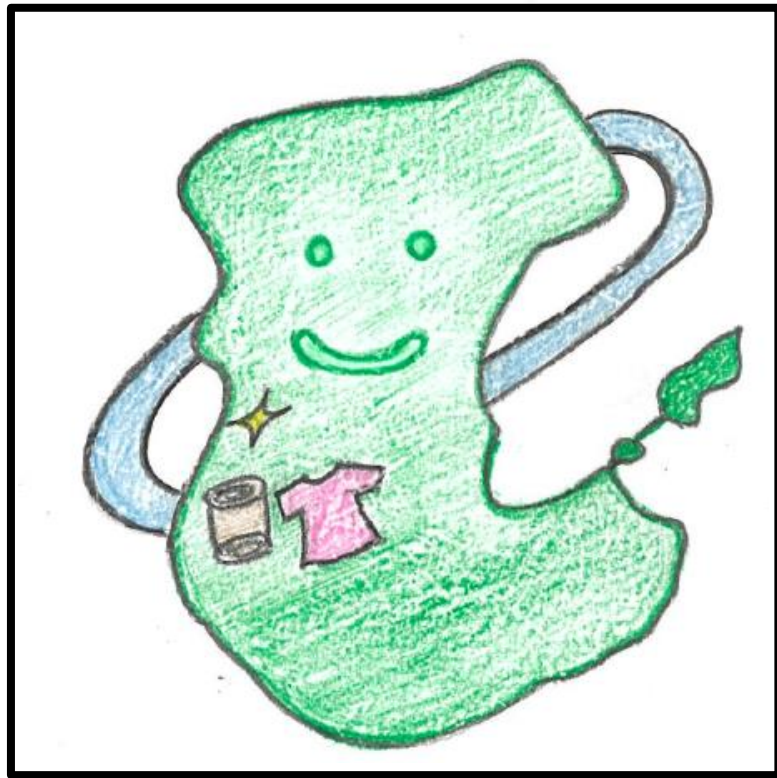
かつらぎ町立大谷小学校

4年生 森本 凌生さん



和歌山市立三田小学校

4年生 宮本 さくらさん



橋本市立橋本小学校

6年生 濱崎 千佳さん



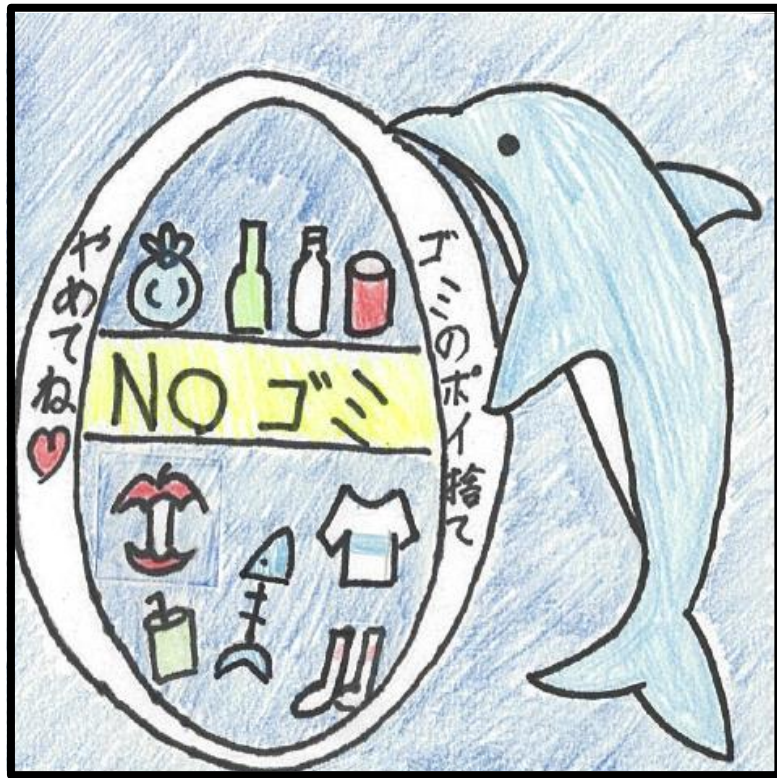
近畿大学附属和歌山中学校

1年生 森川 祐輔さん



紀の川市立貴志川中学校

1年生 井田 伶奈さん



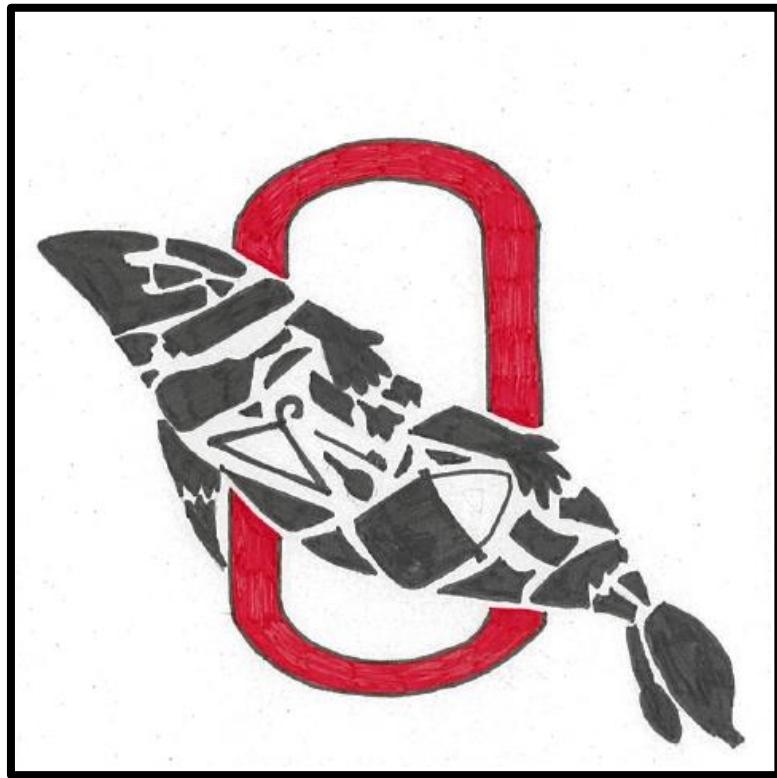
和歌山市立西浜中学校

2年生 村垣 妃華子さん



和歌山県立和歌山工業高等学校

1年生 池田 楓さん



和歌山県立和歌山工業高等学校

1年生 森本 颯来さん



和歌山県立和歌山工業高等学校

3年生 宇家 夢香さん